

白鳳 スタンプラリー

実施期間
2015年
7月18日(土)~
9月23日(水・祝)

奈良国立博物館での特別展「白鳳」と、
白鳳時代にゆかりの深い興福寺、薬師寺、法隆寺の拝観スポットをめぐり、
スタンプを集めた方に素敵な記念品をプレゼント!

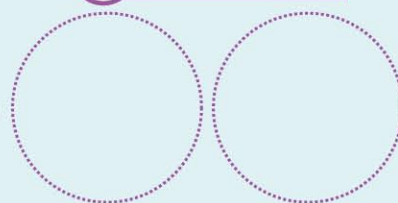
スタンプ欄

1 白鳳展と



奈良国立博物館

2 2寺院拝観で、



興福寺 or 薬師寺 or 法隆寺

3 特製グッズ(非売品)プレゼント!!



記念品交換



◎記念品交換ができるのは下の枠内記載の合計4か所です。
◎記念品の交換は1名様1回限りです。◎実施期間終了後は記念品の引き換えはできません。

各スタンプ設置場所で上の「スタンプ」欄にスタンプをおします。
◎スタンプ設置場所は下の枠内記載の合計4か所です。

スタンプ設置場所 記念品交換場所



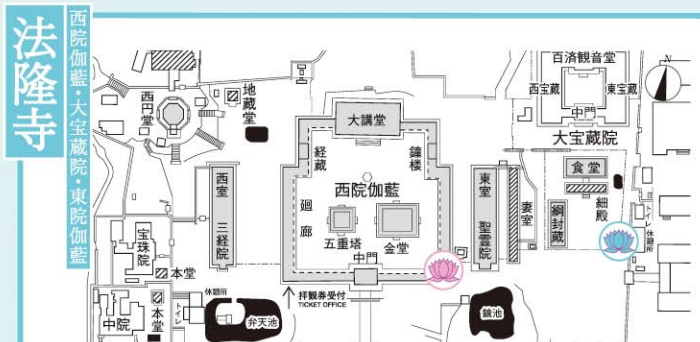
●スタンプ設置・記念品交換場所: 西新館1階展覧会出口付近



●スタンプ設置・記念品交換場所: 国宝館拝観受付



●スタンプ設置・記念品交換場所: 金堂



●スタンプ設置場所: 西院伽藍出口付近 ●記念品交換場所: 東休憩場所

白鳳時代にゆかりの深いお寺を巡ろう。



興福寺

起源は藤原鎌足の時代に

669年に藤原鎌足の病気の回復を祈願して夫人・鸕女王が現在の京都市山科区に造営した「山階寺」が起源と伝われます。壬申の乱(672年)の後、飛鳥に都が戻った際に「厩坂寺」の名で藤原京に移建されました。さらに710年の平城京遷都に伴い藤原不比等によって現在の地に移され、「興福寺」と名付けられました。以降、藤原氏の氏寺として大いに繁栄し、奈良時代には四大大寺、平安時代には七大大寺の一つに数えられました。1180年の平重衡の南都焼討ち、江戸時代の1717年の火災などでたびたび堂塔は焼失しましたが、その都度多くの人々の努力で復興を遂げ、現在に至ります。仏頭は東金堂の昭和の大修理の際、現本尊の台座内部から発見されました。仏頭は持統皇后の発願で7世紀後半に建立された山田寺講堂本尊の一部と考えられる、白鳳時代の代表作です。1187年に興福寺東金堂の本尊として迎えられました。1411年の火災で鉢は焼け落ち、頭部だけが奇跡的に残りました。

拝観料：一般800円／中学生600円／小学生250円
 (国宝館・東金堂共通券)
 ※国宝館のみの拝観料は一般600円
 中学生500円／小学生200円

拝観時間：午前9時～午後5時(受付は午後4時45分まで)
 ※8月5日・14日は午後8時30分まで
 (受付は午後8時15分まで)

アクセス：近鉄奈良駅より徒歩約5分、JR奈良駅より市内循環バス県庁前下車すぐ
 ☎0742222755

薬師寺

天武・持統天皇ゆかりの寺院

天武天皇の発願で680年に造営が始められ、持統天皇に受け継がれて藤原京に伽藍が完成しました。平城京遷都に伴い、718年に現在の地に移されたと伝えられています。移転当初は金堂、東西両塔、回廊が立ち並び、「竜宮造り」と呼ばれるほどの華麗さを誇りましたが、16世紀に兵火に焼かれ、唯一残った東塔(国宝)が白鳳時代の様式を今に伝えています。昭和43年から始まった伽藍の復興により、金堂、西塔、中門、回廊、大講堂などが次々と再建され、白鳳伽藍が甦りつつあります。白鳳彫刻の代表作である金堂の薬師三尊像(国宝)は必見です。なお、東塔は2009年から10年がかりで解体修理中で、塔上部の相輪も降ろされています。これに伴い、白鳳展では飛天が舞う美しい水煙など相輪の一部を間近でご覧いただけます。

拝観料：一般500円／中学生400円／小学生200円
 ※8月13日・15日は一般800円／中学生700円／小学生300円
 (金堂・西院伽藍も公開)
 ※9月16日以降は一般1000円／中学生700円／小学生300円
 (金堂・西院伽藍も公開)

拝観時間：午前8時30分～午後5時
 (受付は午後4時30分まで)
 アクセス：近鉄西ノ京駅下車すぐ
 ☎07422336001



法隆寺

世界最古の、木造建築物

607年、聖徳太子と推古天皇により創建されたと伝わります。「日本書紀」には670年に伽藍を焼失したとの記述があり、その後の白鳳時代に金堂、五重塔、中門など西院伽藍の中心となる建物が造られ、711年までに現在の伽藍がほぼ完成したと考えられています。以降、兵火や天災にはあわず、太子信仰に守られたこともあって、世界最古の木造建築物として古代の姿を今に伝えています。美術工芸品でも伝橋夫人念持仏厨子(国宝)、観音菩薩立像(夢違観音、国宝)など白鳳時代の名品を多く伝えています。また、金堂の釈迦三尊像(国宝)、百済観音像(国宝)など飛鳥時代の仏像の代表作も拝観できますので、飛鳥から白鳳への仏像の様式の変遷をたどることができるのも魅力です。

拝観料：一般1500円／小学生750円

拝観時間：午前8時～午後5時(受付は午後3時50分まで)
 アクセス：JR法隆寺駅より法隆寺門前行きバス
 法隆寺門前下車すぐ
 近鉄南井駅より王寺駅行きバス
 法隆寺前下車徒歩約5分
 ☎07457522655

奈良国立博物館

開館120年記念特別展

白鳳

Hakuho

花ひらく仏教美術

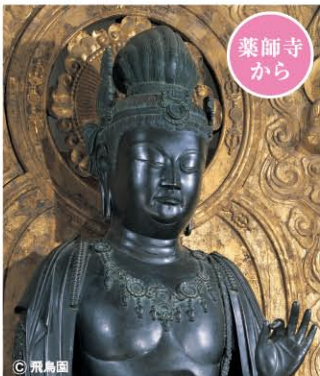
観覧料：一般1500円／高校生1000円／小学生500円
 開館時間：午前9時30分～午後6時、毎週金曜日と8月5日～15日は午後7時まで(入館は閉館の30分前まで)
 休館日：毎週月曜日、7月21日(火)
 ※ただし、7月20日[月・祝]、8月10日[月]、9月21日[月・祝]は開館
 アクセス：近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ
 ☎NTTハローダイヤル050-5542-8600

主催＝奈良国立博物館、読売新聞社、NHK奈良放送局、NHKプラネット近畿
 協賛＝文化庁、奈良県、奈良テレビ放送
 協賛＝関西大学、きんでん、清水建設、大和ハウス工業、ダイワボウ情報システム、天理時報社、非破壊検査
 協賛＝日本書堂、仏教美術協会



興福寺から

国宝・仏頭は8月18日～27日は奈良国立博物館で、それ以外の期間は興福寺国宝館で出会えます！



薬師寺から

興福寺・薬師寺・法隆寺が所蔵する



法隆寺から

右上：国宝 観音菩薩立像(夢違観音)
 右下：国宝 阿彌陀三尊像(伝橋夫人念持仏)
 中上：国宝 月光菩薩立像
 中下：国宝 聖観世音菩薩立像
 左上：国宝 仏頭



白鳳時代の至宝を一堂にご覧いただけます。